

プランテックス®未施工



プランテックス®施工後



プランテックス®の物性

項目	品番	68B(3207)	125B/R(3377)	240B/R(3707)	JIS試験
色		黒	黒(B)/茶(R)	黒(B)/茶(R)	
秤量(g/m ²)		68	125	240	JIS-P8124
厚さ(mm)		0.28	0.4	0.64	JIS-P8123
透水係数(cm/秒)		1.2×10 ⁻¹	3.73×10 ⁻²	5.01×10 ⁻²	JIS-A1218
引張強度(N/5)	縦	131.3	201.0	666.4	JIS-L1096
	横	190.1	323.0	629.2	
引張伸度(%)	縦	39.8	42.7	42.5	JIS-L1096
	横	42.3	35.6	46.5	
引裂強度(N)		53.9	縦76.0/横54.0	135.2	JIS-L1096
破裂強度(kpa)		480.2	1127	2107.0	JIS-P8112
規格(m×m)		幅2×長さ50	幅2×長さ50	幅2×長さ30	
		幅1×長さ50	幅1×長さ50	幅1×長さ30	

125B/Rと240B/Rは片面が黒、片面が茶のリバーシブルになっています。巻き方により黒面を表に施工しやすいもの（巻いた状態では茶色）は125B・240B、茶面を表に施工しやすいもの（巻いた状態では黒色）は125R・240Rとなります。

使用上の注意：1.貫通力の強いスギナ、ハマスゲやチガヤ、アシ、ヨシ等イネ科の雑草には240B/Rをご使用ください。68B、125B/Rでは貫通します。

- 2.紫外線（日光）への抵抗力は強化してありますが、基本的には劣化し最終的には水と炭酸ガスに分解します。砕石、砂利等で覆っていただければ30年以上雑草抑制効果は持続します。砂、土でも結構ですが覆った部分に雑草が生える可能性が高くなります。
- 3.表面を覆わないで（直接日光にさらして）使用可能なのは240B/Rだけですが、雑草抑制効果期間は短くなります。（日照時間によって違いますが5年程度）
- 4.表面を覆う場合は必ずしも止具は必要ありません。ただし重ねしろに土、砂等が挟まらないように施工してください。表面を覆わない場合はアンカーやピンを使用します。重くて摩擦力の高いものほど、また面積あたりの本数が多いほど風への対抗力が強くなります。
- 5.弊社の取り扱いピンは直径3.8mm、長さ23cmのワッシャー付きU字型ピンですが（風に抜けないことを保証するものではありません）、市販のものでも結構です。
- 6.接着剤はポリプロピレン用のものをご使用ください。（例コニシボンドGP100）
- 7.素材のポリプロピレンは食器や食べ物の密閉容器に多用されており、使用時にも焼却時にもダイオキシン等の特別な有害物質は発生しません。

プランテックス®はデュポン社の登録商標です。

輸入元：デュポン株式会社 高機能不織布事業部

取扱店：

総販売元：TYPACK 株式会社 タイパック

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34 風間ビル3F
 TEL：03-3295-0755(代) FAX：03-3295-0767
 URL：http://www.typack.co.jp
 E-mail：sales@typack.co.jp

☎0120-88-8611

株式会社 イズカ

〒693-0043 島根県出雲市長浜町337-13
 TEL(0853)28-2688(代)FAX(0853)28-2802
 E-mail:info@izuka.co.jp http://www.izuka.co.jp



DuPont Nonwovens

プランテックス®

雑草の成育を抑制するシート、プランテックス®。



自然環境と調和した、画期的シート、プランテックス®。 雑草を抑制し、美しい景観の維持管理をラクにします。

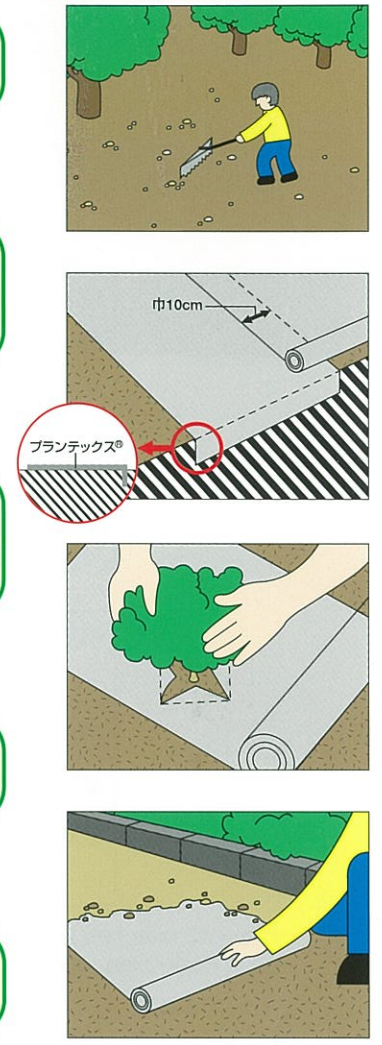
プランテックスは、デュポン社が開発した造園用ポリプロピレン・スパンボンド不織布です、しかも人や動物はもちろん環境に影響をおよぼすことはありません。水や、空気、肥料は通し、雑草の育成を抑制するので、公園や街路をはじめ用途も広く、効率的な維持管理ができます。雑草が生えない環境づくりには、地球に優しいプランテックスをご使用ください。



手間も技術もいらない、カンタン作業です。

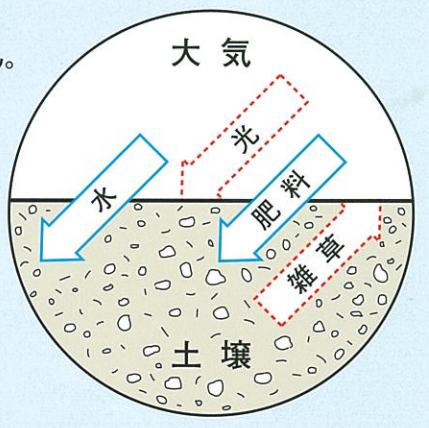
<プランテックスの施工方法>

- 1 あらかじめ地面の雑草を取り除き、土壌をならす。
※表面が粘土質で水はけの悪い場合は、少し傾斜をもたせる。
- 2 プランテックスのロールを広げる。
広いエリアに敷く場合には、繋ぎ目にすき間ができないように少なくとも10cm以上重ねることをおすすめします。
- 3 はさみ又はカッターで、植物の位置にあわせてプランテックスをX型に切る。
大きな樹木の場合には、プランテックスの幅方向にまっすぐな切れ目を入れる。
- 4 切れ目から植物を通すか、プランテックスを敷いた後で切れ目に植物を差し込むように植える。
- 5 その上に、碎石、砂利、砂、土、チップなど、他の覆いを少なくとも5cmの厚さで敷きつめる。



プランテックスの特長

- 1 水を通し、雑草の育成を抑制します。
特殊な有孔構造が優れた透水性を実現。
しかも強靱なシートなのでほとんどの雑草が突き抜けません。
- 2 除草の手間はほとんどかかりません。
雑草が生えたとしても、それはシートの上の表土から。根付かないので除草がラクです。
- 3 除草剤の散布を最小限に抑えられます。
日常のメンテナンスでは、除草剤は不要。
もし必要となる場合でも、少ない量で済みます。
- 4 どなたでも簡単に施工できます。
軽量なので運搬や敷設がラク。
特別な技術はいらないので、施工に手間はかかりません。



さまざまな景観管理にお使いいただけます。

<プランテックスの主な使用例>

- ◆アスファルトの下材 アスファルトに触れても溶ける事はありません。(融点168℃) アシ、ヨシ等の貫通力の強い雑草を防ぐことができます(240B/Rに限りです。)粘度の低いアスファルトの場合は採石や砂利の下にお引き下さい。
- ◆道路の中央分離帯に植栽 プランテックスを切り抜き(または十字に切る)、苗木を植ると雑草のない花壇になります。
- ◆ブロック舗装の道 透水性シートとしてインターロッキングや透水性タイルの下材として使用すれば砂の流出を防ぎ、雑草の発生を抑制できます。

その他に、こんな場所でも。

- 一般家庭の庭/プランテックスを敷いた後に腐植土や玉砂利などを敷きつめると、草むしりの必要のない、美しい庭になります。
- 歩道●高圧線鉄塔の周辺●インターロッキング●レンガ/ブロックテラス●森林の林道●駐車場●植木畑●ウッドデッキの下●公園墓地
- 造園工事●屋上庭園など